

校長通信

尾花沢を背負って立つ学校～自分たちで創り上げるシン尾花沢中～

輝け！シン尾花沢中

第2号

令和7年

4月8日

伸びよとさそう 常若の ああ尾花沢中学校

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

昨日7日（月）に、令和7年度第79回入学式が行われました。

2・3年生の割れんばかりの拍手に迎えられ、吹奏楽部の演奏に合わせて、80名の新入生がいい表情で入場してきたとき、私は大きな感動を覚えました。尾花沢中学校の素晴らしさを改めて実感したところです。

加えて、菅野緋香俐さんによる新入生代表のことは、私の心に深く刻まれるものとなりました。以下、緋香俐さんのことを紹介します。



新入生オリエンテーション時の記念撮影

新入生代表のことは

1年 菅野緋香俐さん

柔らかな春の陽ざしが心地よいこの日に、私たち新入生のために、このような盛大な入学式を行っていただき、誠にありがとうございます。このような場で新入生代表として挨拶の機会をいただけることを大変光栄に思います。まず、私たちを温かく迎え入れてくださった先生方、先輩方、そして支えてくれた家族に心から感謝申し上げます。



私たち新入生一同、期待と少しの不安を胸にこの新たな門出に立っています。中学生活は、小学校と比べて学びの内容が一段と深まり、部活動や学校行事など新しい経験も多くなると聞いています。その中で、私たちは新たな挑戦を恐れず、一つひとつの機会を大切にしていきたいと思います。そして、努力することで自分の可能性を広げ、未来に向けた力をたくわえていきたいと考えています。

また、この新しい生活では、仲間と協力し合うことの大切さも学んでいきたいと思います。一人では乗り越えられない困難も、仲間と力を合わせることで解決できることがあるでしょう。友達同士だけでなく、先輩方や先生方も信頼関係を築きながら、互いに支え合い、より充実した学校生活を送りたいと願っています。

さらに、学校生活を通じて学ぶのは、知識や技術だけではなく、自分自身を見つめ直し、成長させることだと思っています。新しい環境で経験することのすべてが私たちを強くし、大きく成長させる貴重な糧になると信じています。

最後に、私たち新入生一同、この学校の一員として誇りを持ち、日々努力を重ねていくことをここに誓います。そして、未来を切り開いていく力を身に着けるため、全力で挑戦していきます。

80名の新入生を迎え、シン尾花沢中学校のさらなる飛躍を大いに期待しています。

【文責：校長 工藤雅史】